

都市公園避難口の整備を

設置するよう指導する

奥西 伊佐男 議員(一新会)

①市内8カ所に設置の留守家庭児童会施設のうち、草内だけが学校敷地外の公園奥の外部から見えない場所にあり、環境的にも、安心安全の面からも問題がある。早急に安全な場所への移転を検討願いたい。

②都市公園施設の安全性確保について問う。悲惨な事件が多発する中、フェンスに囲まれ、入口一つの公園が目立つ。可能な限り、避難口が備わった安心安全な都市公園づくりを目指し、既設公園についても点検の上、改善願いたい。

建設部長 安心して利

用していただくために、ご指摘どおり、入口は複数ある方が良くと考えている。今後小規模公園についても、可能な限り、複数箇所設置するよう指導し、既設公園の改修についても考えていきたい。



「うきうき公園」の出入口と外観(山手東)

③全天候型多目的グラウンド整備事業の最終完成に向けての市の方針を問う。グラウンド部分及び駐車場が完成したが、全天候型に向けた市の方針・見解は、また、常磐苑周辺整備事業として、

建設部長 市道草内五ノ坪線拡幅整備工事は、平成20年度に着工、平成21年度に完成予定である。また、下ノ川原五ノ坪線から通称農免道路までの道路新設については現在進めている草内美泥排水路整備工事と密接な関係があることから、今後整備状況を見ながら、検討していく。

草内五ノ坪線の拡幅工事と通称農免道路への新設道路についても、区内の治水対策に係るもので、計画的な取り組みを。建設部長 全天候型については、地盤の安定、財源確保を勘案し、その時期になれば十分検討していく。

定期予防接種の充実を

現在関係機関と調整中

河本 隆志 議員(民主党)



予防接種を受ける乳児

①予防接種対策について問う。(7)麻疹(はしか)は通常、春から夏にかけて流行する。昨年2007年には、10代から20代

の若者層の間で流行し、学校、教育機関等が休校する問題が生じた。そこで厚生労働省は、WHOが求める2012年に麻疹排除達成を目指し、「麻疹排除計画」を策定

した。2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻疹と風疹の定期予防接種対象者が、第3期(中学1年相当世代)から第4期(高校3年相当世代)まで拡大されるこ

とになった。市では今後どのような対策を考えているのか。

保健福祉部長 周知や実施方法などは、関係機関と調整を行っている。

①2006年からは、2回接種が義務づけられ、95%の接種率で麻疹と風疹は排除できる。予防接種を受けていなかった世代、社会人、成人等を含めて啓発活動が必要である。接種率向上には保健福祉部、教育部、教育委員会、行政側の横の連携が必要と思われる。

保健福祉部長 保育所幼稚園では保護者に個人通知等々を行っている。

②自転車同乗幼児ヘルメット着用義務化について。2008年4月1日

からヘルメット着用義務化が施行され、市町村独自の役割が必要であるが、対策は、またヘルメットを購入する際のアドバイス(基準・サイズ等)や補助をする考えは、定期検診に来られる際にチラシを入れるなど、保健福祉部との連携、また双方向からの積極的な啓発活動を要望する。

安心まちづくり室長 毎年市交通安全対策協議会など共催している自転車マナーアップ推進活動や、幼稚園、保育所を通じて啓発活動を実施していきたい。市単独で補助する予定はないが、安全基準適合表示のあるヘルメットを推奨したい。

からヘルメット着用義務化が施行され、市町村独自の役割が必要であるが、対策は、またヘルメットを購入する際のアドバイス(基準・サイズ等)や補助をする考えは、定期検診に来られる際にチラシを入れるなど、保健福祉部との連携、また双方向からの積極的な啓発活動を要望する。

上級救命講習の拡充を

年3回を6回に増やす

河田 美穂 議員(公明党)



救命講習会のようす

①妊産婦無料健診の拡充について市の考えは。保健福祉部長 来年度から助成回数を含め、

2回から5回に拡充する。

②こどもには赤ちゃん事業に母子保健推進委員制度を導入してはどうか。保健福祉部長 本市では専門性を重視しており、保健師、助産師などの専門職で対応していきたい。

③エディンバラ産後うつ病自己検査票を全員に活用してはどうか。保健福祉部長 保健師または助産師が訪問の際に必要なと判断した場合のみ活用している。

④中学生の自転車安全教室を実施してはどうか。市長 警察署、安全協会などと十分協力する。

⑤上級救命講習会の拡充と教える方を養成する講習会の実施について、市の考えは。消防長 上級救命講習会は6回に拡充し、応急手当普及員の養成は今年度から検討中である。

⑥公立中学校の教室を夜間の進学塾に活用してはどうか。市の考えは。教育部長 義務教育である学校の公共性、無償であることから、実現する事は難しい。

⑦子供に海外体験と海外の方との交流の場をつくってはどうか。教育部長 海外体験は

教室を実施してはどうか。市長 警察署、安全協会などと十分協力する。

⑤上級救命講習会の拡充と教える方を養成する講習会の実施について、市の考えは。消防長 上級救命講習会は6回に拡充し、応急手当普及員の養成は今年度から検討中である。

⑥公立中学校の教室を夜間の進学塾に活用してはどうか。市の考えは。教育部長 義務教育である学校の公共性、無償であることから、実現する事は難しい。

⑦子供に海外体験と海外の方との交流の場をつくってはどうか。教育部長 海外体験は

計画されていないが、海外の方との交流は、数多く取り組まれている。

⑧児童、生徒の体力低下の原因とその対策はどう考えているのか。教育部長 学校、家庭地域との連携した取り組みが進むよう支援する考えである。

⑨健康増進のため、万歩計と地図の配布をしてはどうか。保健福祉部長 万歩計と地図を配布する予定はない。

⑩市役所のトイレにトイレ用擬音装置を設置してはどうか。総務部長 節水対策の選択肢の一つとして視野に入れていきたい。

興戸駅 西側地域 整備計画は

平成20年度から進める

小林 喜代司 議員(一新会)

①近鉄興戸駅からJR同志社前駅までの間は、同志社京田辺キャンパスが開校されて早や20年を経過するのに全く整備されていない。京都府による防賀川の切り下げ工事も進んでおり、西側地区一帯の整備が必要であるが、市の考えは。建設部長 現在京都府において防賀川の切り下げ工事が進められており、跡地を、どのように整備す



学生の利用が多い近鉄興戸駅

ンコ店の進出を規制して、市民の要望に応える必要があると思うが、市の考えは。

建設部長 建築基準法では立地が可能な用途地域は、明確に区分されている。京都府の風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律施行条例でも立地できる場所が明確に区分されている。この様な状況下で地区計画等により、法律や京都府

条例以上の規制をかけることは適正でないと思っている。

⑤他市町村では、国内また外国の都市と友好都市、姉妹都市の提携を結び友好、親善が図られている。多くの市民の要望もあり、友好都市、姉妹都市の提携が必要であると思うが、市の考えは。市民部長 現在の厳しい社会状況のもとでは特定の都市と友好都市や姉妹都市の提携は考えていないが、京田辺市国際交流協会を始めとする市民や市民団体への活動助成や連携を通じて、まず国内または外国の都市と市民レベルでの自主的な交流活動が促進されるよう支援していきたい。